学校番号	219

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	音楽Ⅲ改訂版（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰ・Ⅱで学習してきた「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の 4 つの分野の内容を更に深めていきます。
・授業では教科書、ファイル、筆記用具、指示した必要な楽器を持参してください。
・学習の到達度は、授業で配付するプリントやワークシートの内容、実技テスト、個人やグループで取り組む課題やレポートにより評価します。特にこの授業ではアンサンブルによるグループ活動を重要視しています。
・音楽の学習を通して社会と音楽の関係性や、グループ活動によって協調性を育み、コミュニケーションの大切さを学ぶ機会にしてほしいと思います。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート グループ発表	観察 ワークシート 実技テスト グループ発表 提出作品	観察 実技テスト グループ発表 提出作品	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	響きあう声を大切にしながら歌おう！	【歌唱】 ◆声のウォーミングアップ曲 ダンノーゼルのソルフェージュ コンコーネ ①結ーゆいー ②ふるさと ③海の声 ④Beauty and the beast ⑤Nina ⑥Hail Holy Queen	○	○	○		a:ハーモニーを創り出すことに喜びを感じ、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素や楽曲の背景を知覚し、それらの働きが生み出す曲想を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c:音楽表現をするために必要な発声、呼吸法などを身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 実技テスト
	音楽の世界を広げよう	【器楽】 ①Start up!Plaing the Piano ②うさぎ小屋のピアニストたち 【鑑賞】 オペラの世界 ①トゥーランドット　ほか	○ ○	○	○	○ ○	a:ソロやアンサンブルに関心をもち、その特徴を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:原曲の音色やフレーズを考えて演奏できる。 c:楽譜を正しく読み取り、自分一人で音として再現でき、曲想に合わせた表現ができる。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深め、良さや美しさを主体的に味わって聴いている。	観察 ワークシート グループ発表 レポート

1 ～ 2	様々なアンサンブルに挑戦	【器楽・創作】 グループアンサンブル 編曲 演奏 【器楽・鑑賞】 グループアンサンブルの発表・鑑賞 【歌唱】 アカペラアンサンブル ①残酷な天使のテーゼ ②自由選択曲 【器楽】 箏曲アンサンブル	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	a:器楽合奏やアカペラに関心をもち、グループで協力しながら課題に積極的に取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素や旋律と和音の関係を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:複雑なリズムを自力で譜読みして正しく音に再現することができ、曲想に合わせた表現ができる。 d:各自が選曲・編曲した楽曲について、各曲の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート グループ発表 レポート
2	作詞作曲のヒミツを探ろう	【創作】 モチーフをもとに旋律と歌詞を作って、作詞作曲する 【楽典】 音符と休符、拍子、強弱記号、速度、コード	○ ○	○	○ ○		a:モチーフの特徴を生かして、反復、変化、対照などの構成を理解して工夫し、イメージをもって音楽をつくることに意欲的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるのか表現意図をもっている。 c:モチーフの特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を理解して、工夫した創作活動をするために、必要な技能を身につけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 提出作品

2 ～ 3	高校生活の締めくくりを歌声に乗せて表現しよう	【歌唱】 卒業式の歌	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、豊かな声でイメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素や楽曲の背景を知覚し、それらの働きが生み出す曲想を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c:音楽表現をするために必要な発声、呼吸法、読譜力などを身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート
	高校生活の締めくくりを音に込めて表現しよう	【歌唱・器楽・創作】 グループアンサンブル ・ジャンルや楽曲は自分たちで選曲する 【鑑賞】 グループアンサンブルの発表・鑑賞	○ ○	○	○ ○		a:様々な演奏形態の音楽に関心をもち、グループで協力しながら課題に積極的に取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:複雑なリズムを自力で譜読みして正しく音に再現することができ、曲想に合わせた表現ができる。 d:各自が選択した楽曲について、各曲の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート グループ発表 レポート

曲目は生徒の実態に合わせて変更する場合があります。